

林 美智子リサイタル *Black & Red*



オペラ、コンサート、リサイタル、レコーディング、テレビ CM 出演など目覚ましい活躍を続けているメゾ・ソプラノ林美智子が、現在の充実ぶりを存分に発揮するソロ・リサイタル。女性役のほか得意のズボン役も歌い分けるオペラアリアから、ライフワークとして歌い続けている日本の歌まで幅広く披露いたします。その瑞々しく輝かしい歌声はもちろん、魅惑的な表情とコケティッシュなしぐさもあいまって、芸術性豊かな、かつエンターテインメントに溢れたパフォーマンスは、必ずや聴衆の心をとらえることでしょう。独自の演出力も高く評価されており、そのユニークで斬新な切り口のステージプランが演奏効果を一層魅力的に引き立てます。林美智子の「旬」を今こそ是非ご堪能下さい。

【プログラム案】

《前半》(日本歌曲)

高田三郎 「市の花屋」 「くちなし」

武満徹 「小さな空」 「島へ」 「○と△の歌」 「翼」 「死んだ男の残したものは」

野平一郎 演劇的組歌曲『悲歌集』より「想うことはいつも」

野平一郎 「夜 ～La Nuit～」 (作詞: 林美智子)

《後半》(オペラアリア)

歌劇『カルメン』より “ハバネラ” “セギディーリヤ”(ビゼー)

歌劇『サムソンとデリラ』より “あなたの声に心は開く” (サン＝サーンス)

歌劇『フィガロの結婚』より “自分で自分がわからない” “恋とはどんなものかしら” (モーツァルト)

歌劇『ホフマン物語』より “見ろ、震える弦の下で” (オッフェンバック) 他

※このほか、ズボン役に特化したプログラム、武満徹の日本歌曲のみのプログラムのご提供も可能です。

■ 林 美智子 Michiko HAYASHI

卓抜した歌唱力と華麗な舞台姿で、今もっとも注目を集めているメゾ・ソプラノ。
東京音楽大学卒業。桐朋学園大学研究科及び新国立劇場オペラ研修所修了。
02年文化庁派遣芸術家在外研修員として渡独。

アテネで開催された「国際ミトロプーロス声楽コンクール 2003」で最高位入賞。これにより05年同地にてオペラ『エウメニデス』(世界初演)に出演。

第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。

早くからその才能は注目を集め、02年二期会『フィガロの結婚』ケルビーノで好評を博し、同役は06年の再演、及び07年新国立劇場での公演で当り役としての評価を決定付ける。海外の著名演出家からも高い評価を得ており、03年二期会『ばらの騎士』オクタヴィアンではG. クレーマー、06年同『皇帝テイトの慈悲』セストではP.コンヴィチュニー、そして最近ではびわ湖/横浜に於ける『ばらの騎士』でのA. ホモキと、いずれも最大級の賛辞が寄せられている。

CDはデビューアルバム「赤と黒」(ビクターエンタテインメント)に続き、08年8月20日には武満徹の作品を集めた「地球はマルイゼ」(同)をリリース。次代のオペラ界を牽引する歌い手として、益々の期待が寄せられている。

二期会会員 <http://www.2s.biglobe.ne.jp/~mittyan/>



■ Discography



「赤と黒」～Black & Red
(ビクターエンタテインメント)

女性役、ズボン役(男性役)を歌い分けたデビューCD。
自ら2役を歌う“セルフ・デュエット”も注目！
2人の林美智子をお楽しみ頂けます。



「地球はマルイゼ」
(ビクターエンタテインメント)

武満徹のSONGSを全曲録音したCD第2段。
野平一郎、野平多美編曲
ギターリスト大萩康司氏との共演も必聴！

【出演料】

お問い合わせください

【お問い合わせ】

株式会社 二期会21 事業本部 マネジメントグループ
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-25-12
TEL.03-3796-4711 FAX.03-3796-4710